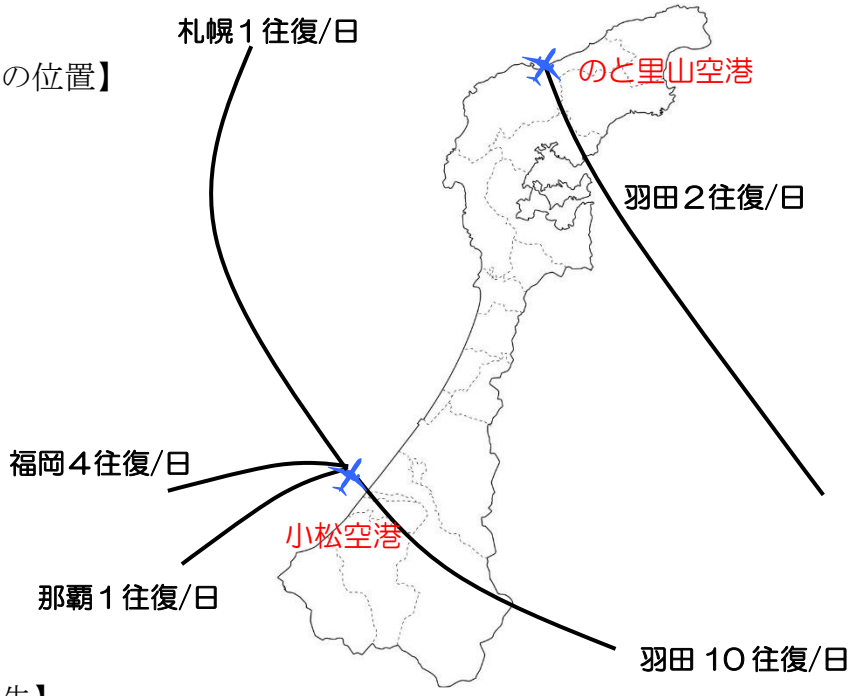
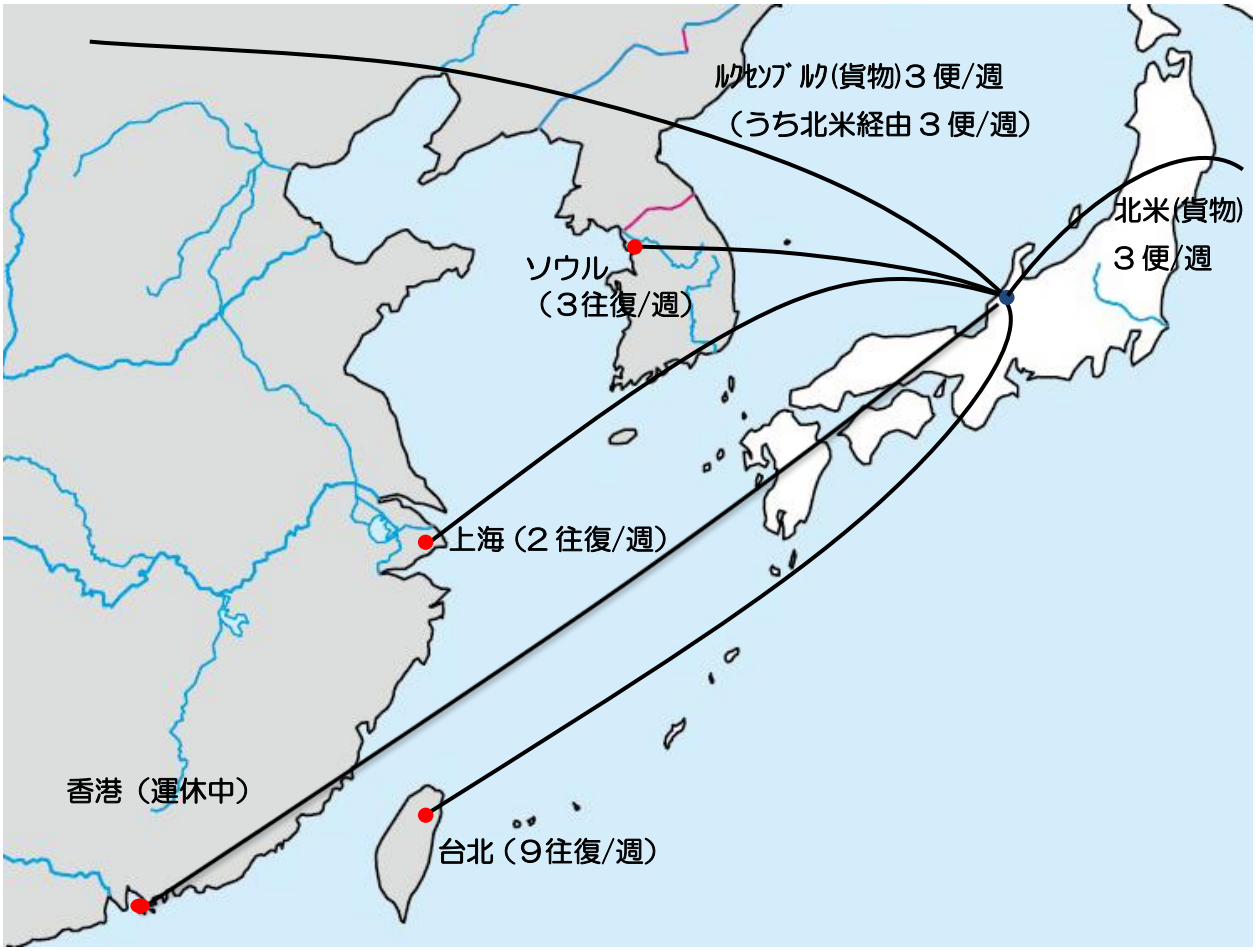
５．空路

石川県には、「小松空港」と「のと里山空港」という２つの空港があり、北陸地域の空の玄関口として役割を担っています。就航率は小松空港が 96.4%(R5 年度)、のと里山空港が 99.1%(R5 年度)あり、ともに高い水準を維持しています。

【図 小松空港 と のと里山空港の位置】



【図 小松空港の主な国際線就航先】



○小松空港国内線の就航状況（令和６年３月末現在）

路線名	便数	機種	運航会社	所要時間	R5 年度 乗降客数
小松－東京	10 往復/日	738 321	全日本空輸 日本航空	60 分	９１３千人
小松－札幌	１往復/日	321	全日本空輸	95 分	１０１千人
小松－福岡	４往復/日	Q84	全日本空輸 オリエンタルエアブリッジ	85 分	１６５千人
小松－那覇	１往復/日	738	日本ﾄﾗﾝｽｵｰｼｬﾝ 航空	130 分	８５千人

738＝ボーイング 737－800（165、166 席）　321＝エアバス 321（194 席）
767＝ボーイング 767－300（261 席）　73H＝ボーイング 737－800（166 席）
Q84＝ボンバルディア DHC8－Q400（74 席）　32P＝エアバス 320（146 席）

○小松空港国際線の就航状況（令和６年３月末現在）

路線名	便数	機種	運航会社	所要時間	R5 年度 乗降客数
小松－ソウル	３往復/週	737	大韓航空 日本航空	115 分	9,364 人
小松－上海	２往復/週	―	中国東方航空 日本航空	140 分	4,520 人
小松－台北	９往復/週	―	エバー航空 全日本空輸 タイガーエア 台湾	140 分	129,963 人
小松－香港 ※R 元年、夏ダイヤのみ運航	運休中	―	キャセイパシフィック航空	270 分	０人

○のと里山空港の就航状況（令和６年３月末現在）

路線名	便数 （※）	機種	運航会社	所要時間	R5 年度 乗降客数
能登－東京	２往復/日	738（166 席）	全日本空輸	55 分	１０７千人

※令和６年能登半島地震の影響により、週３日、１往復/日の臨時便として運航。

〇小松空港貨物便の就航状況（令和６年３月現在）

通関がスピーディーなところがポイントで、R5 年度の国際貨物取扱量は 4,566t です。

① ヨーロッパ向け貨物便

ルクセンブルクへの定期貨物便が就航しています。

路線名	便数	機種	運航会社	路線開設
小松ーﾙｸｾﾝﾌﾞﾙｸ	３便/週 (水・金・土) ※すべて北米経由	B747-400F B747-8F	ｶｰｺﾞﾙｯｸｽ航空	H6.7.2

②アジア向け貨物便

ソウル便、上海便、台北便の旅客便ベリーを利用し、貨物を運搬します。

路線名	便数	機種	運航会社	路線開設
小松ーｿｳﾙ(仁川)	運航中	B737-900	大韓航空	S54.12.12
小松-上海(浦東)	運航中	A320	中国東方航空	H16.11.25
小松-台北(桃園)	運休中	A321-200 A330-200	エバー航空	H20.6.1

③羽田空港利用アジア等向け貨物サービス（全日本空輸、日本航空）

羽田空港を経由して、旅客便ベリーを利用し世界の主要空港に運搬します。

ソウル（仁川、金浦）、台北（桃園、松山）、香港、広州、上海（浦東、虹橋）、北京、深圳、青島、大連、マニラ、ハノイ、ホーチミンシティ、バンコク、クアラルンプール、シンガポール、ジャカルタ、シドニー、ホノルル、バンクーバー、サンフランシスコ、ロサンゼルス、シカゴ、ニューヨーク、ロンドン、パリ、フランクフルト、ミュンヘンなど